

## 【2週連続】虎ノ門キャンパスで開催！知的財産マネジメント、 国際標準化活動の最前線で活躍するプロフェッショナルによる実践的セミナー ～ 1月上旬開催・参加費無料 ～

金沢工業大学(K.I.T.)が東京・虎ノ門にて開設している「K.I.T.虎ノ門大学院」(所在地:東京都港区愛宕1-3-4)は、知的財産マネジメントに関する無料セミナーを2週連続で開催します。

いずれも業界の第一線で活躍するプロフェッショナルの皆様にスピーカーとして登壇いただく実践的な内容です。奮ってご参加ください。

詳細 URL: <http://www.kanazawa-it.ac.jp/tokyo/toranomon/professional-meeting.html>



### ■セミナー概要

◇会場: 金沢工業大学 虎ノ門キャンパス <http://www.kanazawa-it.ac.jp/tokyo/map.htm>

◇参加費: 無料 ◇定員: 各回 80 名

◇申込: [https://secure.kanazawa-it.ac.jp/tokyo/evententry\\_promeeting.htm](https://secure.kanazawa-it.ac.jp/tokyo/evententry_promeeting.htm)

※取材ご希望の方は事務室([tokyo@kanazawa-it.ac.jp](mailto:tokyo@kanazawa-it.ac.jp))まで E メールにてご連絡ください。

### 【1】知財を学んで幅広いキャリアの扉を開こう！

～組織、業種を越える知財キャリアの可能性とその魅力

<日時> 2016年1月8日(金) 19:30～21:30

<スピーカー>

- ・王子ホールディングス株式会社 知的財産部 弁理士 中川 淳子 氏
- ・ヤフー株式会社 法務本部 知的財産マネージャー 今子 さゆり 氏
- ・K.I.T.虎ノ門大学院 教授 高橋 真木子

詳細 URL: [http://www.kanazawa-it.ac.jp/tokyo/toranomon/professional-meeting/1199623\\_2847.html](http://www.kanazawa-it.ac.jp/tokyo/toranomon/professional-meeting/1199623_2847.html)

### 【2】スマートフォン開発の裏側で繰り上げられる国際標準をめぐる対立 Part2

～知財ポリシーに関する最新動向とビジネスへの影響

<日時> 2016年1月13日(水) 19:30～22:00

<スピーカー>

- ・KDDI 株式会社 技術開発本部 知的財産室 知財戦略グループリーダー 千葉 哲也 氏
- ・Nokia Technologies アジア太平洋地域 パテントライセンス責任者 ヤリ・ワーリオ 氏
- ・経済産業省 産業技術環境局 国際戦略情報分析官 長野 寿一 氏 (K.I.T.虎ノ門大学院 客員教授)
- ・大阪工業大学大学院 知的財産研究科 教授 平松 幸男 氏

詳細 URL: [http://www.kanazawa-it.ac.jp/tokyo/toranomon/professional-meeting/1199622\\_2847.html](http://www.kanazawa-it.ac.jp/tokyo/toranomon/professional-meeting/1199622_2847.html)

## ■開催の背景

イノベーションの重要性がますます叫ばれる中、K.I.T.虎ノ門大学院では、「イノベーションマネジメント研究科」を2016年4月から設置し、知的財産マネジメントプログラムとMBAプログラムを開講します。

なかでも、知的財産マネジメントプログラムは、第一線で活躍するプロフェッショナルに求められる幅広い学びの選択肢を提供。1) 知的財産に関する充実した法律・実務科目だけでなく、2) 企業における戦略的な知的財産マネジメントに関する科目、そして3) MBAで提供されるビジネス科目を学ぶことができます。

また、修了時にはわが国初の学位であるMIPM(知的財産マネジメント修士)の学位が取得できます。

## <K.I.T.虎ノ門大学院について>

金沢工業大学が2004年に東京・虎ノ門に開設した社会人向けの1年制大学院。2016年4月にイノベーションマネジメント研究科が新たにスタートし、約100科目×総勢70名を越える教員陣によるハイクオリティな授業が大きな特長です。MBA/知的財産マネジメントの修士号を1年で取得することができます。募集定員は40名。



授業は社会人が受けやすいよう、平日夜間(19:00~22:10)、土日昼夜(9:30~21:30)に開講し、キャンパスは虎ノ門ヒルズに隣接しており、仕事との両立を図るためには最高のロケーションとなっています。

<http://www.kanazawa-it.ac.jp/tokyo/index.html>

## ■本件に関するお問い合わせ先

K.I.T.虎ノ門大学院 (金沢工業大学大学院 東京・虎ノ門キャンパス事務室)

フリーダイヤル: 0120-757-242 (受付時間 10:00~22:00) E-mail: [tokyo@kanazawa-it.ac.jp](mailto:tokyo@kanazawa-it.ac.jp)

住所: 〒105-0002 東京都港区愛宕 1-3-4 愛宕東洋ビル 12F

TEL: 03-5777-2227 FAX: 03-5777-2226

## <セミナー詳細【1】 2016年1月8日(金) 19:30~21:30>

### 知財を学んで幅広いキャリアの扉を開こう！組織、業種を越える知財キャリアの可能性とその魅力

今回のセミナーでは、活躍の場が広がる知的財産業界の現在を、お二人の女性知財プロフェッショナルのお話を通してご紹介します。

仕事の中味だけでなく、今後の自分のキャリア等、等身大の現役ビジネスウーマンの視点で、知財業界で働くメリットやその魅力、知財を学んで幅広いキャリアの扉を開く可能性について、お話いただく企画です。会社のお仲間、お知り合いとお誘い合わせの上、ぜひこの機会をご活用ください。

[http://www.kanazawa-it.ac.jp/tokyo/toranomon/professional-meeting/1199623\\_2847.html](http://www.kanazawa-it.ac.jp/tokyo/toranomon/professional-meeting/1199623_2847.html)

◇日時：2016年1月8日(金) 19:30~21:30 ※進行状況により多少延長する場合がございます。

◇プログラム：

- ・19:30 - 20:15 第1部『多様な知財キャリアを知ろう』中川 淳子 氏
- ・20:15 - 21:00 第2部『ヤフーでの知財キャリア(仮)』今子 さゆり 氏
- ・21:00 - 21:30 第3部『座談会&ディスカッション』中川 淳子氏、今子 さゆり氏、高橋 真木子教授

◇会場：金沢工業大学 虎ノ門キャンパス <http://www.kanazawa-it.ac.jp/tokyo/map.htm>

◇参加費：無料

◇定員：80名

◇申込：[https://secure.kanazawa-it.ac.jp/tokyo/evententry\\_promeeting.htm](https://secure.kanazawa-it.ac.jp/tokyo/evententry_promeeting.htm)

#### <受講対象者>

- ・国内外の知財業界における女性の進出、女性の活躍について知りたい方
- ・女性弁理士の実情やその働き方、知財スキルを活かした働き方について関心をお持ちの方
- ・将来的なキャリアチェンジ、国家資格の取得を検討している方など（男性もご参加いただけます）

#### ■スピーカー紹介

特許庁審査官、大学の知財管理、特許事務所を経て、現在は企業の知財部に御所属で、知財に関わる全セクターを経験なさったマルチキャリアの弁理士である中川氏と、ITが支える新しいサービスで私達の生活を変えるヤフージャパンの知財法務でご活躍の今子氏をお招きします。

王子ホールディングス株式会社 知的財産部 弁理士 中川 淳子 氏

お茶の水女子大学大学院人間文化研究科物質科学専攻前期過程修了。特許庁にて、高分子分野の審査官として働いた後、(有)山口ティール・エル・オーにて、技術移転アソシエイトとして、大学の技術移転を担う。その後、(業)三枝国際特許事務所にて、弁理士(代理人)として働き、2013年、王子ホールディングス(株)に移り、知的財産部にて働いている。

ヤフー株式会社 法務本部 知的財産マネージャー 今子 さゆり 氏

日本知的財産協会デジタルコンテンツ委員会委員長、産業構造審議会知的財産政策部会、技術的制限手段に係る規制の在り方に関する小委員会委員。

K.I.T.虎ノ門大学院 教授 高橋 真木子

東北大学大学院工学研究科博士課程(技術社会システム専攻)修了。大学院修士までは、分子生物学・植物遺伝学を専攻。その後、一貫して産学連携による研究開発マネジメント、技術移転(ライセンス、知財活用)の実務経験を担いつつ、その人材である大学の研究力強化を担うリサーチアドミニストレーターの普及展開に貢献する。2004年以降、東京工業大学、東北大学、理化学研究所で実務を担いつつその活動の調査研究を行う。2014年本学教授就任。

## <セミナー詳細【2】 2016年1月13日(金) 19:30~22:00>

### スマートフォン開発の裏側で繰り上げられる国際標準をめぐる対立 Part2 知財ポリシーに関する最新動向とビジネスへの影響

今や生活に欠かすことのできないスマートフォン。国内有数の通信事業者であるKDDI、北欧発のグローバル企業であるNOKIA、そして、日本の標準化行政に携わる経済産業省において技術標準化活動の最前線でご活躍されている3名のゲスト講師をお招きします。裏側で繰り上げられる大企業同士の駆け引きや、標準化機関の動向について知りたい方は是非ご参加ください。

[http://www.kanazawa-it.ac.jp/tokyo/toranomon/professional-meeting/1199622\\_2847.html](http://www.kanazawa-it.ac.jp/tokyo/toranomon/professional-meeting/1199622_2847.html)

※前回(Part 1)の議論の概要につきましては、こちらをご参照ください。

<http://toyokeizai.net/articles/-/61497>

◇日時: 2016年1月13日(金) 19:30~22:00

◇会場: 金沢工業大学 虎ノ門キャンパス <http://www.kanazawa-it.ac.jp/tokyo/map.htm>

◇参加費: 無料

◇定員: 80名

◇申込: [https://secure.kanazawa-it.ac.jp/tokyo/evententry\\_promeeeting.htm](https://secure.kanazawa-it.ac.jp/tokyo/evententry_promeeeting.htm)

## <受講対象者>

- ・3年以上の企業又は官公庁における在職経験をお持ちの方
- ・技術開発、知財・標準化業務に従事されている方

## <プログラム>

### ■19:30 - 20:00 第1部 『IoT時代の標準規格と知財』

(KDDI株式会社 技術開発本部 知的財産室 知財戦略グループリーダー 千葉 哲也 氏)

標準規格はICT産業において非常に重要であり、そのため規格策定各社の叡智の成果である多数の特許が含まれています。そして特許が規格の実施に与える影響が大きくなるのに伴って特許の活用動きが盛んになっており、活発化してきているパテントロールなどの活動の主戦場が米国から欧州など世界に拡がり始めています。このような状況を踏まえ、そもそも標準必須規格とは何かなど基本的な概念の整理を含め、本格的なIoT時代への突入にあたり、標準規格と知財のあり方や世界における議論、KDDIの考えについてご紹介します。

### ■20:00 - 20:30 第2部 『Business considerations on SDO participation』

(Nokia Technologies アジア太平洋地域 パテントライセンス責任者 ヤリ・ワーリオ 氏)

標準化開発機関(SDO)への参加に伴い考慮すべきビジネス上の事項について、現状を踏まえてお話しいただきます。

The SDO participation has based on the principle of receiving later FRAND compensation for the early investment on standards development. The FRAND licensing has balanced the varying investments in standards development between the companies. However, the recent development of FRAND licensing environment has made this difficult as the number of free riders is increasing and it seems that without costly litigations less and less companies are ready for FRAND licensing. As a result of this development, companies have to reassess their investments in open standardization and evaluate alternative approaches to create value for their R&D investments. The presentation provides a high level description of the overall situation and implications to business considerations related to SDO participation.

### ■20:30 - 21:00 第3部 『標準必須特許問題の概観とその解決策の考察』

経済産業省 産業技術環境局 国際戦略情報分析官 長野 寿一 氏 (K.I.T.虎ノ門大学院 客員教授)

第1部と第2部で見た標準必須特許の実施者と権利者の対立構造を受けて問題の本質を追究し、全体像と鍵を握るプレイヤーを整理して見極め、それぞれのプレイヤーが提供できる解決策を探ります。その過程で新たなビジネスチャンスを見いだすことができるかどうかは関係者全員の今後の課題となることでしょう。

## ■21:00 - 22:00 第4部 『質疑応答&パネルディスカッション』

(司会進行: 大阪工業大学大学院 知的財産研究科 平松 幸男 教授)

情報通信分野における標準化活動のエキスパートである大阪工業大学大学院の平松幸男教授の司会のもと、ゲスト講師3名にもご登壇いただき、会場からの質問も受けながら、最新のトピックスやグローバルな視座からの検討課題等について参加者全員で理解を深めていきます。